

## 親子で木の良さを体験！ 西行桜の森親子木工教室

木のぬくもりに触れながら緑の大切さを学ぶ「親子木工教室」が8月7日、西行桜の森木工芸館遊鵬で開催されました。教室には小学生と保護者18組42人が参加。参加者は、ひらいずみ里山倶楽部会員の指導のもと、金づちやのこぎりを使って作業を開始。木のぬくもりを感じながら、貯金箱や本立てなど思い思いの作品作りに取り組みました。また作業終了後にはカレーを食べるなど、親子で楽しい一日を過ごしていました。



## 新たな平泉の魅力発信 世界遺産登録5周年特別展が開幕

平泉町世界遺産登録5周年記念特別展と関連事業のオープニングセレモニーが7月23日、平泉文化遺産センターで行われました。セレモニーには関係者約50人が出席し、特別企画展の開催をはじめ、浴衣着用で町内の飲食店などで各種特典が受けられる「まちあるきクーポン」や、フェイスブックとInstagramを利用した写真コンテスト「夏の思い出フォトコンテスト」など、平泉の観光を楽しむきっかけとなる新たなイベントの幕開けを祝いました。



## 戦争のない世界を願う 平泉町戦没者追悼式

町主催の戦没者追悼式が8月10日、平泉ホテル武蔵坊でしめやかに営まれました。式には遺族ら約100人が参列。青木町長の式辞に続き、町遺族会会長の木村正さん(8区)が追悼の言葉を述べました。また町内のコーラスグループ「ファンタジー」が追悼の歌をささげ、最後に参列者が祭壇に花を手向けて静かに手を合わせ、戦争の犠牲となった肉親や先祖の冥福を祈っていました。



## 素晴らしい歌声を披露 気仙沼市の大島児童館まつり

学童保育「すぎのこクラブ」に通う小学生30人が7月30日、気仙沼市の大島児童館まつりに参加し、同館を利用する子どもたちと交流会を楽しみました。交流会では、すぎのこクラブの子どもたちがミニコンサートで「しあわせ運べるように」「花は咲く」の合唱を披露。その後大島の子もたちと一緒に「アスナロの木」を歌い、その素晴らしい歌声に観客から大きな拍手と声援が送られていました。

## 穏やかな水面を照らす灯籠 毛越寺浄土庭園法灯会

8月16日、毛越寺浄土庭園の大泉が池において、毛越寺浄土庭園法灯会が営まれました。大泉が池に浮かべられたのは、先祖代々供養、被災地復興、家内安全などさまざまな願いや思いが込められた約1,000個の灯籠。揺らめく灯籠が穏やかな水面を照らし、会場内は優しく幻想的な雰囲気に包まれていました。毛越寺の僧侶による読経の中、多くの見物客らが池のほとりで灯籠が漂う様子を静かに見守り祈っていました。



## 役場ホールの夏の風物詩 グループホームけーせんの七夕飾り

グループホームけーせんの利用者が作製した七夕飾り3本が8月1日、役場ホールに飾られました。くす玉の下に細長い和紙などを垂らした長さ約2メートルの吹き流しが風に揺れ、来庁者に涼しさを届けていました。8月9日に役場を訪れた同ホーム利用者は、七夕飾りのきれいな出来映えに満足している様子でした。制作した菅原克子さんは「折り紙の細かい作業が難しかったが、きれいに出来たと思う」と話していました。



## 県交通安全対策協議会から表彰状 交通死亡事故ゼロ連続1,000日を達成

町内での交通死亡事故ゼロの日が8月13日で連続1,000日を達成しました。8月19日、役場で行われた伝達式には青木町長をはじめ、町交通指導隊、交通安全母の会連合会、地域交通安全活動推進委員ら町内の関係団体の代表が出席。県交通安全対策協議会から青木町長に表彰状とトロフィーが贈られました。伝達式に同席した関係者は、この日を新たなスタートとして、交通死亡事故が起きない安全安心なまちづくりに取り組んでいくことを決意していました。



## 事故防止を呼び掛ける 眠気覚まし「梅干し作戦」を展開

8月7日、町交通安全母の会連合会が主催する「梅干し作戦」が中尊寺第1駐車場、第2駐車場、毛越寺駐車場の3カ所で行われました。この取り組みは1976年から毎年実施されているもので、「過労運転で交通事故を起こさないように」との願いを込め、疲労回復に効果があるという梅干しを配布しています。当日は関係者ら約40人が参加。ドライバーに梅干しや交通安全のチラシなどを配布し、交通安全を呼び掛けました。